

# 私たちの道

## MCWAYを感じる

成長と育成の責任は、誰が担うのか

### 1. 事例：入社直後の自身のマインド

- ・完全異業種から転職してきた自分。専門性で貢献できるものは何もない。
- ・今できること、やるべきことに全力で取り組まねばならない。
- ・とにかく早く広くインプットしなければならない。
  - やらなければならないことが渋滞し、優先順位がわからず、手が動かない。
  - 周囲の力になれていないと感じ、時間だけが過ぎ、ネガティブに焦る。

### 2. MCWAYからの気付き

#### 【専門性のない自分でも、MCメンバーに貢献することはできるのではないか】

- ・「理想の新人像」を以下3点からブレインストーミングし、意識的に表現して振舞うよう行動。
  - 1 見た目：清潔感、笑顔、良い姿勢、落ち着いている
  - 2 精神：高いモチベーションと成長意欲、ポジティブ、誠実、素直、礼儀、周囲に気を遣える、気が利く
  - 3 行動：元気な挨拶、積極的な行動、自らフィードバックを得る、適切な報連相、自分で考えたうえで周囲に聞く、良いと思ったことはすぐに取り入れる

#### 【周囲の反応】

- 『あなたの成長意欲と姿勢に、とても刺激をいただいています』
- 『他のメンバーに良い影響を与えられています』
- 『周囲への気遣いに感謝しています』
- 『まだ入社から1ヶ月だけど前からいたみたい、早くもMCに馴染んでいるね』

#### 【気付き】

- ・「上司が部下を」ではなく「ヒトがヒトを」育成する。→誰にも育成責任はある。
- ・人として「良い!」と思ったことは、熱量を込めて、全力で、愚直にやりきることで自他の成長や気付きにつながる。  
(あたりまえのことはいつの間にか忘れてしまう)
- ・良いパーソナリティは立派なビジネススキル。
  - 自己研鑽を重ね、人として成長し続ける。EQ向上、心理学、マインドフルネス、学ぶものは多い。